

進めよう!男女共同参画

閩男女共同参画室(☎827-1107)

自分らしく生き生きと暮らせる社会へ

女性だから家事ができるのは当たり前なの?



男性が育休を取得することは、おかしいの?

男女を区別するような不当な扱いや圧力を感じたことはありませんか? その区別は、本当に当たり前のことでしょうか?

好きなことや、苦手なことは、人それぞれです。

「男だから」「女だから」ではなく、一人ひとりの個性や能力を發揮して、協力をするを「男女共同参画」といいます。

性別にかかわらず、誰もが社会のあらゆる分野で活躍できる可能性を広げることは、とても重要なことです。

男女共同参画週間

「男女共同参画社会基本法」施行日の平成11年6月23日にあわせて、毎年6月23日～29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

市では、期間中にウララ2階展示スペースにて、パネル展を開催しますので、お立ち寄りください。

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ

このキャッチフレーズは、内閣府が15歳から20歳までのユース世代を対象に『「男だから」「女だから」といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会を実現していくきっかけとなるキャッチフレーズ』を募集し、令和4年度最優秀となった作品です。

このキャッチフレーズのもと、男女共同参画を推進するため、全国各地でさまざまな取り組みが行われます。

地域安全情報 No.115



閩生活安全課(☎826-1111 内線2298)



6月9日はロックの日

「我が家のカギを見直すロックの日」として、施錠による防犯を推進しています。

この機会に、家庭の施錠状況を見直してみましよう。

令和3年茨城県の住宅侵入窃盗事件発生状況

- ・住宅侵入窃盗発生件数 1107件(前年比78件減)
- ・犯罪率(人口10万人あたりの認知件数) 38.6件
※全国ワースト2位

手口別発生状況

侵入箇所のうち、窓の約3割、出入り口の約7割が、無施錠の状態です。在宅中や少しの時間でも外に出る際には、施錠する習慣をつけましよう。

- ・不在時の住宅侵入窃盗 800件(前年比15件増)
- ・就寝時の在宅侵入窃盗 279件(前年比82件減)
- ・在宅中の住宅侵入窃盗 28件(前年比11件減)

家庭でできる防犯対策

防犯性能に優れていることを示す「CPマーク」の表示がある製品を使用することも、被害の防止に効果的です。

- ・1つの扉に2つの鍵の設置を心がける。
- ・サッシや窓は補助錠を設置する。
- ・防犯フィルムを貼る。

農作業時も交通安全に気を付けましよう

6月は梅雨の時期です。地面のぬかるみや、視界不良により、交通事故の発生が懸念されます。

特に、平成29年～令和3年の統計を見ると、農作業目的の交通事故は、5月に急増し、6月が最多となっています。農作業中も交通マナーを順守し、事故の防止に努めましよう。

農作業にともなう交通事故の例

- ・農耕車を運転中に後続車両に追突される。
- ・農耕車を運転中に田畑などに転落する。
- ・貨物車への荷物の積み下ろしの際や、田畑の見回り中に走行車両に追突される。

交通事故を防ぐために

- ・夕方～夜間の農作業はできるだけ避けましよう。暗いなかでの作業の際は、必ず反射材を身に付けましよう。
- ・シートベルト装備のある車両は、必ずシートベルトを着用ましよう。
- ・農耕車に反射材や低速車マークを付け、他の車両に分かるようにましよう。



低速車マーク